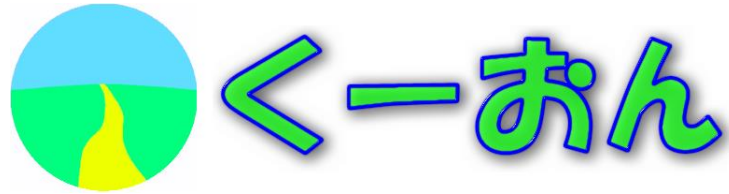


令和3年度

NPO 法人



通常総会資料



令和3年5月29日(土)

次 第

- 1 開会
- 2 理事長あいさつ
- 3 議長選出
- 4 議事録署名人の選出
- 5 議事
 - ① 第1号議案 令和2年度 事業・決算報告
～会計監査報告～
 - ② 第2号議案 令和3年度 事業計画・活動予算（案）
- 6 その他
- 7 閉会

<資料目次>

○令和2年度事業報告	P 1～2
○令和2年度決算報告	P 3～7
○会計監査報告	P 8
○令和3年度事業計画（案）	P 9～11
○令和3年度活動予算（案）	P 12

令和2年度特定非営利活動に係る事業報告書

特定非営利活動法人 くーおん

理事長 山下 貴子

1 事業の成果

令和2年度は、新型コロナウイルスに翻弄された一年となりました。昨年3月より、制限された日常のなか、どのご家庭も過ごされたことと思います。わたしたちも、例年当たり前にできていた活動を縮小せざるを得なくなり、日々の活動も検温、換気、消毒と気をつけながら行う毎日でした。しかしながら、悪いことばかりではなかったと思います。徹底した衛生管理もとの生活は、健康の大切さ、予防に関する衛生習慣を子どもたちに教えてくれたのではないのでしょうか。また、このような時期だからこそ、短時間とはいえ、からだを動かすことのできる楽しさや重要性を見にしみて感じる事ができたように感じます。感染対策を徹底した中で、なるべく通常活動を継続する努力をスタッフ全員でしてきました。年度当初は経験したことのないウイルスへの恐怖や、感染予防に対してどこまでするべきなのか、いつまで続くのかという、いいような不安の中での事業継続は、日々携わってきたスタッフには言い切れないほどの感謝でいっぱいです。また、利用者のみなさまとも、相互の理解のもと参加していただくことができました。ご協力ありがとうございました。今までの信頼関係があつてはじめて、できたことと思います。残念ながら、例年利用者のみなさまに楽しみにしていただいていた自然体験の1デイプログラムやキャンプは1年間休止させていただきましたが、年明けより、公共交通機関を使わない徒歩遠足やウォークラリーから活動を再開しました。

コロナウイルス感染対策として、連携医療機関である習志野台整形外科内科と、スタッフに対する定期的なPCRスクリーニング検査の実施、および医療連携について具体的な対応を話し合いました。また、スタッフへの、罹患した場合の特別休暇を定め、福祉職員に対する慰労金申請を行いました。

その他、人員体制についての取り組みとしては、フルタイム非常勤1名をこるおれに配属しました。また、6月には育休から正規職員が復帰しており、安定した事業展開を行うことができました。加えて、正規職員に対する退職金制度を制定しました。

また、新たな試みとして、地域活動と子どもたちの安全を守るためにAEDの設置を行いました。

(各事業所について)

今年度も、くーおん体操教室・放課後等デイサービスとれいる、多機能型事業所こるおれ(放課後等デイサービス・児童発達支援)の3事業所のサービス体系で活動してまいります。昨年度の臨時総会で決議された多機能型事業所こるおれとくーおん体操クラブの対象児童の見直しにより、こるおれの放デイ利用は小学生に限定され、平日の高学年及び中高生はくーおん体操クラブとなります。現在の登録者数は、くーおん体操クラブ25名、放課後等デイサービスとれいる50名、こるおれ40名(児童発達支援14名、放課後等デイサービス26名)となっています。お子さまも、いろいろな地域の学校に通われています。最近では、学校や幼稚園に行きにくいお子さまのご利用が増えてきました。これからますます、障害種を問わず、<全ての子どもたちが楽しく暮らせる地域作り>を目指した活動を組み込んでいきたいと思っております。また、くーおん体操クラブのご利用の高学年以降の子どもたちに対して、より社会参加に向けて自身で考える力を養う機会を提供したり、仲間づくりを通し、自分の存在を肯定できる居場所として新しい活動の第一歩をみなさんと一緒に考案していきたいと思っております。

今年度は会員の皆さまの意見を吸い上げることのできる機会や環境を整えて参りたいと思っております。ご協力をお願い申し上げます。

2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
(1) 子どもの運動支援・健全育成とその家族に対する支援事業	運動が苦手な児童・生徒への運動支援活動・自然体験活動・健康ピラティス,	毎週水～日 (年末年始・夏季休暇等を除く)	法人事務所 ほか	のべ人数 478人 ボランティア のべ人数 1人	運動が苦手な児童・生徒 のべ345人 (内訳) 運動 216人 自然体験 10人 ピラティス 119人
(2) ・児童福祉法に基づく放課後等児童デイサービス事業 (とれいる)	支援の必要な児童に対して放課後や長期休暇を利用して自立を促すとともに安心して過ごせる居場所を提供する。	毎週月～日 (年末年始・夏季休暇等尾を除く)	習志野台 2-16-10-B (放課後等デイサービス事業所とれいる)	のべ人数 1051人 ボランティア のべ人数 0人	事務所と利用契約した児童・生徒 のべ人数 1,526人
・児童福祉法に基づく放課後等デイサービス、および児童発達支援事業 (こるおれ)	支援の必要な0歳～18歳までの子どもたちに対し、発達を促す個別療育や集団療育、運動支援を行う。	毎日(指定された休日や年末年始、夏季休暇を除く)	高根台 6-19-24 (こるおれ)	のべ人数 1,492人 ボランティア 人数 4人	事業所と利用契約した児 のべ人数 2434人 (児童発達 1084) (放デイ 1350)

(法第28条第1項)

令和2年度その他の事業報告書

特定非営利活動法人くーおん

1 事業の成果

特定非営利活動及び児童福祉法に基づく放課後等デイサービス事業及び児童発達支援に係る事業に専念するため、実施しなかった。

2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	支出額 (千円)
(1) 物品販売	本年度は実施しなかった	—	—	—	0

決 算 報 告 書

第 9 期

自 令和 2年 4月 1日

至 令和 3年 3月31日

特定非営利活動法人 くーおん

千葉県船橋市習志野台二丁目16番10号

活動計算書

令和2年 4月 1日 ～ 令和3年 3月 31日 まで

(単位:円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	585,000	
賛助会員受取会費	0	
サポート会員受取会費	0	585,000
2. 受取寄付金		
受取寄付金	111,000	111,000
3. 受取助成金等	0	0
4. 事業収益		
子どもの運動支援・健全育成とその家族 に対する支援事業	755,000	
児童福祉法に基づく児童発達支援及び 放課後等デイサービス事業	46,663,829	47,418,829
5. その他収益		
受取利息	73	
雑収益	74,962	75,035
経常収益計		48,189,864
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
役員報酬	3,097,500	
給料手当	19,532,798	
賞与手当	2,891,078	
法定福利費	3,585,273	
人件費計	29,106,649	
(2) その他経費		
行事費	67,256	
旅費交通費	603,956	
消耗品費	109,069	
支払報酬	58,000	
保険料	3,050	
地代家賃	2,640,000	
水道光熱費	296,835	
減価償却費	116,701	
その他経費計	3,894,867	
事業費計		33,001,516
2. 管理費		
(1) 人件費		
役員報酬	1,032,500	
法定福利費	154,048	
福利厚生費	126,633	
人件費計	1,313,181	
(2) その他経費		
募集費	125,400	
交際費	82,871	
会議費	6,878	
消耗品費	641,425	
旅費交通費	12,970	
通信費	331,603	
保険料	140,322	
諸会費	39,075	
租税公課	610	
支払手数料	608,186	
広告宣伝費	12,600	
地代家賃	405,000	
水道光熱費	40,275	
リース料	543,024	
共済掛金	123,500	
支払利息	159,412	
雑費	63,000	
その他経費計	3,336,151	
管理費計		4,649,332
経常費用計		37,650,848
当期正味財産増減額		10,539,016
前期繰越正味財産額		4,078,206
次期繰越正味財産額		14,617,222

貸借対照表

令和3年 3月 31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	10,614,100		
未収金	8,423,562		
前払費用	178,153		
仮払金	20,740		
流動資産合計		19,236,555	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
建物	1,407,740		
有形固定資産計	1,407,740		
(2) 投資その他の資産			
敷金	720,000		
保険積立金	70,000		
投資その他の資産計	790,000		
固定資産合計		2,197,740	
資産合計			21,434,295
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	120,073		
流動負債合計		120,073	
2. 固定負債			
銀行借入金	6,697,000		
固定負債合計		6,697,000	
負債合計			6,817,073
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		4,078,206	
当期正味財産増減額		10,539,016	
正味財産合計			14,617,222
負債及び正味財産合計			21,434,295

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、定額法により償却しています。

2. 事業費の内訳の状況

事業費の内訳の状況は以下の通りです。

(単位:円)

科 目	子どもの運動 支援等事業	放課後等デイ サービス事業	児童発達 支援事業	合計
I 人件費				
役員報酬	619,500	0	2,478,000	3,097,500
給料手当	3,277,569	9,601,690	6,653,539	19,532,798
賞与手当	650,000	1,591,078	650,000	2,891,078
法定福利費	676,880	1,682,750	1,225,643	3,585,273
人件費計	5,223,949	12,875,518	11,007,182	29,106,649
II その他経費				0
行事費	65,397	1,859	0	67,256
旅費交通費	156,240	222,972	224,744	603,956
消耗品費	25,795	7,569	75,705	109,069
支払報酬	58,000	0	0	58,000
保険料	3,050	0	0	3,050
地代家賃	720,000	1,080,000	840,000	2,640,000
水道光熱費	80,551	114,959	101,325	296,835
減価償却費	0	14,085	102,616	116,701
その他経費計	1,109,033	1,441,444	1,344,390	3,894,867
合 計	6,332,982	14,316,962	12,351,572	33,001,516

3. 固定資産の増減内訳

固定資産の増減は以下の通りです。

(単位:円)

科 目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
建物	2,507,015	0	0	2,507,015	△ 1,099,275	1,407,740
合 計	2,507,015	0	0	2,507,015	△ 1,099,275	1,407,740

4. 借入金を増減内訳

借入金を増減は以下の通りです。

(単位:円)

科 目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
銀行借入金	9,064,000	0	2,367,000	6,697,000

5. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位:円)

科 目	財務諸表に計上 された金額	内役員及び近親 者との取引
(活動計算書)		
受取会費	585,000	10,000
受取寄付金	111,000	10,000
役員報酬	4,130,000	4,130,000
給与手当	19,532,798	3,304,829
賞与	2,891,078	325,000
活動計算書計	27,249,876	7,779,829
(貸借対照表)		
未払金	120,073	60,000
貸借対照表計	120,073	60,000

財産目録

令和3年 3月 31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手許現金	213,742		
千葉銀行普通預金	10,192,884		
京葉銀行普通預金	207,474		
未収金			
千葉県国民健康保険団体連合会等	8,423,562		
前払費用			
信用保証料・火災保険料	178,153		
仮払金	20,740		
流動資産合計		19,236,555	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
建物			
床・壁修繕	1,407,740		
(2) 投資その他の資産			
敷金	720,000		
保険積立金	70,000		
固定資産合計		2,197,740	
資産合計			21,434,295
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金			
3月分経費等	120,073		
流動負債合計		120,073	
2. 固定負債			
銀行借入金	6,697,000		
固定負債合計		6,697,000	
負債合計			6,817,073
正味財産			14,617,222

以上のとおり報告します

令和3年5月25日

特定非営利活動法人 くーおん

監事 浜

美 純



監査の結果、いずれも適法かつ正確であることを認めます。

令和3年度特定非営利活動法人くーおん

事業計画(案)

1. 事業実施の方針

特定非営利活動法人 くーおん では創設以来障がいの有無にかかわらず、地域の子ども達の健全育成と、子ども達が地域と共に成長できるような地域とのつながりを目指して活動しています。

令和2年は、大幅な体制改革、3事業所体制から2年が経ち、新型コロナウイルスに翻弄された一年ではありましたが、各事業所の利用登録が増え、運営基盤が安定しました。令和3年度は、引き続き感染予防対策を行いながらになりますが、昨年は自粛した課外活動を再開させ、通常の業務に戻していきたいと考えています。今年度は現行の3事業所の運営を基盤とし、会員のみならずと意見交換する機会を設けたり、地域活動への参加を検討していきたいと考えています。

2. 事業の具体的な内容

(1) 子どもへの運動支援事業・健全育成とその家族に対する支援事業

① 少人数制体操クラブ事業(こるおれ放課後等デイサービスとの合同事業)

(水)～(日) 通常営業

運動が苦手な子どもに対し、少人数で丁寧な運動指導を行うことで、運動が好きになり、何事にも自信をもって取り組めることと身体をつくることを目的とする。

幼児 運動あそび 1クラス

児童基本運動 12クラス

中高生 1クラス

② こどもの健全育成を支援する事業(3事業所合同事業)

人々や自然、社会とのふれあいの中で、主体性をもったいきいきとした社会生活をおくるための「自信・適応力・コミュニケーション」を身につけてもらうことを目的とした課外活動を行っていきます。

☆ 令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大により、1年間課外活動は見合わせていましたが、令和3年度は感染予防対策のもと、活動を再開いたします。

<新型コロナウイルス感染予防対策>

・全スタッフに対するPCR検査の実施(月1回)

・課外活動に参加するお子さんに対する健康チェック(2週間の発熱の有無の確認・当日の体調チェック)

・マスクの着用の徹底とアルコール消毒等

○1 デイプログラム

6月19日(低学年) 青葉の森

10月23日(高学年) 忍者体験

11月20日(低学年) 未定

12月11日(全) 県民の森

○キャンプ

夏)手賀の丘キャンプ 8/9～10

栃木 くまの木キャンプ 8/27～28

冬)猿小 キャンプ 2/5～6

※社会情勢により、変更する可能性があります。

(2) 児童福祉法に基づく放課後等デイサービス事業

(こるおれ) 各日定員10名

運動支援を軸に、できる気持ちと自信を育て、仲間と一緒に楽しむ経験をします。

平日(水)～(金) 小学1年生～2年生 基本運動クラス (各クラス50分)

(土)(日) 小学1年生～6年生 基本運動クラス (各クラス50分)

(行事)

忍者で街探検 8月1日(日)

書き初め 1月4日(火)

(とれいる) 各日定員10名

支援の必要な児童に対して放課後や長期休暇を利用して自立を促すとともに、居心地のよい居場所を提供します。

(火)～(土) 通常営業

小学生クラス 火・水・金・土

中・高校生クラス 火・水・金・土(月2回)

身体クラス 木・土(月1～2回)

(行事)※コロナ感染対策のもと実施予定。情勢により変更の可能性あり。

徒歩遠足 5月4日(実施済)

夏のお楽しみ会 7月28日、29日、30日

中高生ボーリング 7月24日、31日

中高生社会科見学 10月

冬のお楽しみ会 12月25日

中高生 カラオケ 12月28日

小学生親子遠足 3月

中高生登山 3月

(3) 児童福祉法に基づく児童発達支援事業

(こるおれ) 各日定員 10 名

大人との信頼関係を築き、安心した環境で自らの興味の幅を広げるお手伝いをします。
スタッフやお友達と一緒に楽しく活動する経験をします。

(月)～(金) 通常営業

未就園児 (0 歳～年少) 集団療育

就園時 個別療育(60 分)

グループ療育 (60 分)	運動クラス	3 クラス
	ソーシャル・コミュニケーション	2 クラス

令和3年度 活動予算書・活動実績

令和3年4月1日から令和4年3月31日

(単位:円)

科目	活動予算書			活動実績		
		金額			金額	
I 経常収益						
1. 受取会費						
正会員受取会費	600,000			0		
賛助会員受取会費	0			0		
サポート会員受取会費	0	600,000		0	0	
2. 受取寄付金						
受取寄付金	100,000	100,000		0	0	
3. 受取助成金等	0	0		0	0	
4. 事業収益						
子どもの運動支援・健全育成とその家族 に対する支援事業	2,300,000					
児童福祉法に基づく児童発達支援及び 放課後等デイサービス事業	47,000,000	49,300,000			0	
5. その他収益						
受取利息	0			0		
雑収益	0	0		0	0	
経常収益計			50,000,000			0
II 経常費用						
1. 事業費						
(1) 人件費						
役員報酬	3,100,000					
給料手当	20,000,000					
賞与手当	3,000,000					
法定福利費	3,060,000					
人件費計	29,160,000			0		
(2) その他経費						
行事費	300,000					
旅費交通費	300,000					
消耗品費	100,000					
支払報酬	70,000					
研修費	120,000					
地代家賃	2,640,000					
水道光熱費	295,000					
保険料	640,300					
減価償却費	148,085					
その他経費計	4,613,385			0		
事業費計		33,773,385			0	
2. 管理費						
(1) 人件費						
役員報酬	1,000,000					
法定福利費	150,000					
福利厚生費	150,000					
人件費計	1,300,000			0		
(2) その他経費						
募集費	100,000					
会議費	50,000					
消耗品費	100,000					
事務用消耗品費	120,000					
通信費	300,000					
保険料	140,322					
諸会費	40,000					
租税公課	600					
支払手数料	600,000					
新聞図書費	70,000					
地代家賃	405,000					
水道光熱費	40,000					
修繕費	10,000					
共済掛金	123,500					
リース料	600,000					
支払利息	50,000					
その他経費計	2,749,422			0		
管理費計		4,049,422			0	
経常費用計			37,822,807			0
当期正味財産増減額			12,177,193			0
前期繰越正味財産額			14,617,222			14,617,222
次期繰越正味財産額			26,794,415			14,617,222